

令和6年度 白鳥小学校 学校経営方針

【学校教育目標】

あたたかく豊かな心とたくましく生きる力を育む

【めざす子ども像】

- 相手の気持ちがわかり想像できる子
- 自ら考え、仲間とともに学びあえる子
- ねばり強く困難を乗り越えられる子

【学校経営の重点】

1. 安心・安全な学校づくり

- 子どもたちが安心して学校に来られる、友だちとの望ましい関係づくりができる、クラスに居場所
が感じられる学校づくりを
 - ・仲間・集団づくりの視点…集団づくりをすることが目的化することなく、学校や学年としての共通
理解のもとにねらい（ゴール）を持って
 - ・常にクラスの目標・方向性を…大切にしていること、年度最後にめざす姿
 - ・心ない言動やくずれを見逃さない…特にいじめを許さない姿勢、いじめへのアンテナの感度をあげ
ることが大切
 - ・子どもたちに寄り添いの姿勢を…不安のある子どもたちが頼れる存在として
- 教職員にとっても居心地の良い職場づくりを
 - ・個性、ちがいを認め合い、それらをいかせる教職員集団づくり
 - ・温かい人間性が温かい職場を生む…気遣い、気配り、配慮、感謝を大切に

2. 「チーム白鳥」

- 白鳥小学校の教職員全員で白鳥小学校の子どもたちを育てる
 - ・学年集団、さらには学校集団として、多面的に子どもを見てかかわる体制に
 - ・それぞれの分掌で適切なリーダーシップの発揮で、効果的・効率的な組織に
 - ・教科担任制（交換授業）を取り入れながら、担任だけではない子どもたちへのかかわりを
- チームとして取り組む・支え合う
 - ・初期対応が大切…報告・連絡・相談をしっかりと。
 - ・一人で抱え込まない、悩ませない、個人を孤立させない
 - ・個人の責任にせず、組織的な支援と対応を行う
 - ・苦しい時こそ協力を…「今、自分にできることは何か」
 - ・根底は温かい職場づくり…きっとそれは子どもたちの成長にも還元され、先生方のやりがいにもつ
ながる

3. 子どもたちに「自信」を…主体性を持って前に進める原動力

○日々の教育活動にふり返りや価値づけをする

- ・子どもたちのがんばりや活躍を認め、ほめる…場の設定、子どもどうしや保護者とも共有
- ・自己肯定感や自己有用感の高まりを…変化の大きい今の時代に自分らしく自信を持って生きられるように
- ・自己実現への支援…自分がやりたいことを自分で見つけ、実際にやっていけるように
- ・校内研修（話し合う力を育てる授業改善）、人間関係プログラム（集団づくり、人権的な視点）の両輪で

4. 家庭・地域・校区との連携—信頼と感謝の関係づくり

○家庭連携

- ・個性・がんばりの承認、課題の克服、成長の願い・喜びを共有し、ともに児童を育む
- ・まずは受容・共感、主張の中に含まれる保護者の願いや思いを受け止める
- ・情報提供を積極的にし、普段からのこまめな電話連絡等、適時の家庭訪問による信頼関係を築く

○地域連携

- ・見守り隊をはじめ地域の方々に常に感謝の気持ちを持たせ、児童に地域に対する愛着を持たせる
- ・「放課後子ども教室」等地域の方々が参加する行事への感謝と積極的な参加
- ・地域の方々への丁寧なあいさつと積極的なコミュニケーションを
- ・「つなげる つながる プロジェクト」…児童、保護者、教職員、地域の方々とのつながりの場を

○校区連携

- ・保幼小中 15 か年を見通した成長、各発達段階に応じた教育を進める（みねちゅう）
- ・「羽曳野市保幼小中 15 か年モデルカリキュラム」を踏まえ、年間計画の改善に取り組む
- ・中学校への進学を見据えた指導と、中学校との具体的な連携をさらに進める